

ユニット型施設について

1 対象施設

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院には、(1)従来型と(2)ユニット型があります。

2 従来型とユニット型の比較

ユニット型では、共同生活の場とこれに近接する概ね 10 人以下の個室となる居室等によって一体的に構成される場所で日常生活を過ごします。1つの小集団の生活単位をユニットとし、ユニットごとのケアが行われます。

	従来型	ユニット型
部 屋	個室または多床室（4人部屋）	すべて個室（一部夫婦型あり）
台所・食堂・リビング等	共有スペースは独立	ユニットごとに共有スペースがあり、部屋と併設している
生活形態	施設全体での団体生活	ユニット単位での少人数での共同生活
ケアの特徴	人間関係が煩わしくない 個別のケアは行いにくい 多床室ではプライバシーが確保されない 感染症が発生した場合は施設内感染のリスクが高い	少人数での家庭的な雰囲気での共同生活ができる（スタッフも専任となる） 少人数なので個別のケアが行いやすい 感染症が発生した場合は施設内感染のリスクは低い
費用	ユニット型に比べると安い	従来型に比べると高い

3 市内の状況

市内介護老人福祉施設 24 施設中、8 施設（590 床）がユニット型個室を有しています（従来型個室や多床室と併設の施設もあります。）

市内の介護老人保健施設、介護療養型医療施設にユニット型はありません。

4 イメージ図

